

Viva 連絡会

Vol.7
2019.5

新年度のご挨拶

特定非営利活動法人 長野県宅老所・グループホーム連絡会

理事長 宮島渡



新年度がいよいよ始まりました。昨年度は、「介護報酬」「診療報酬」「障害者総合支援サービス費」のトリプル改定が懸念されていましたが、少子高齢社会の伸展と地域共生社会の実現に向けた人材確保・育成とサービスの質の向上を目指す観点から、微増ながら改定されました。

平成18年に創設された「地域密着型サービス」は、住み慣れた地域で継続的な暮らしを支援するために日常生活圏域に小規模で家庭的なサービスを提供してきました。近年「地域包括ケア」の推進とともに、単なる介護サービス事業者ではなく、自立から要介護の高齢者・障害者や子供達の居場所など、「地域の拠点」としての役割が期待されています。

昨年度は、長野県より委託を受け「宅老所ステップアップ研修」を実施し、多くの事業者を受講していただき、県の公表にエントリーした事業所が50箇所に上りました。今後、「相談や居場所の提供」「地域づくりの拠点」としての具体的な取り組みが期待されます。さらに、今年度も同研修を受講していただき、長野県内きめ細かな拠点の整備を進めていかねばと考えております。また、昨年度から長野県委託事業「若年性認知症支援コーディネーター設置事業」に着手し、若年性認知症の当事者が地域で働き、生き

る活動を支援する取り組みを始めました。また、今年度は長野県グループホーム協会と協力してグループホームの活動を中心とした地域密着型サービスが支える認知症ケアに焦点を当てて様々な研修会や集いを開催していきたいと考えておりますので、奮ってご参加ください。

当NPO法人長野県宅老所・グループホーム連絡会は「認知症ケアの推進」「地域包括ケア」「共生社会の実現」のために行政機関と連携しながら事業者間の連携やサービスの質の向上のために取り組んでいきます。これからもご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

Contents

◆Pick Up!

平成29年度宅幼老所
ステップアップ研修を終えて

◆南信のつどい

◆若年性認知症支援
コーディネーター
設置事業について

◆【リレー特集】南信会員の取り組み

平成29年度 宅幼老所ステップアップ研修の全日程が終了しました!

平成29年度宅幼老所ステップアップ研修の全日程が3月8日で終了しました。

そもそも宅幼老所ステップアップ研修の「ねらい」は何だったのか?それは「単なるデイサービス事業所からの脱却」ではなかったでしょうか。介護保険制度の枠の中で四苦八苦している現実も確かにあります。私たちが行っている事に理解を示さないケアマネや関連する団体、組織も確かにあります。「長いものには巻かれる」的な面もあります。「出る杭は打たれる」と言われるように、なにかちょっと変わったことや新しい取り組みには、なかなか暖かい理解は得られず、仲間も得られないのがこの世の常です。悲しいことに同じ事業所の中にも抵抗勢力がいたりもします。



研修最終日の様子

事業所全体のレベルを底上げして「次のステージ」に引き上げるという取り組みは、容易ではないかもしれません。しかし、生半可な「出た杭」になって凹まされるより、「出すぎた杭」になりましょう! そのための「宅幼老所ステップアップ研修」です!今年も地域の「出すぎた杭」になるべく研修は続きます。

ステップアップ研修会に参加いたしました。正直、長野市では「共生」は難しいと思っていました。それは障害者施設も整備されているからです。しかし、受講して【なぜ宅老所はできたのか】を、また、富山型や県の南信の取り組みを聞き、【「小さな介護保険施設」ではなく、地域の困りごとに対応する「地域密着の拠点」が目的であり、使命である】と改めて気付かせていただきました。一つの拠点では限りがありますが、色々な資源ともつながり、地域がより安全・安心で、その人らしい生活が当たり前になれる環境になればと思います。研修は、色々な方(普段はなかなか会えない方)と会え、話ができて、勉強になりました。ぜひ、自身の施設から一歩踏み出して、できることを見つけませんか?

燦倶楽部 小林俊之

参加者の

声



懇親会にて...♪



平成29年度 宅幼老所ステップアップ研修 受講者数

◆StepII よろず支援機能・基礎研修

- ・地域支援機能編 79名
- ・共生ケア機能編 86名
- ・認知症支援機能編 73名

◆StepIII よろず支援機能・応用研修

- ・生活支援計画作成研修 1日目69名/2日目67名/3日目63名
- ・共生ケア研修 1日目67名/2日目67名/3日目66名
- ・生活支援コーディネーター研修 77名

修了者数 53名/公表対象事業所数 50箇所

公表事業所の詳細については、長野県のホームページ(<https://goo.gl/wdsCNN>)※短縮URL または当方のホームページ(<http://www.nagano-taku-gh.jp/>)をご覧ください。パートナーシップ宣言は当方のホームページのみの掲載となります。

パートナーシップ事業所には PRチラシとのぼり旗が配られました!



今年も やります!

若年性認知症支援コーディネーター設置事業について

長野県若年性認知症支援コーディネーター 伝田 景光

平成29年度から県の委託を受けて「若年性認知症支援コーディネーター設置事業」が動いております。若年性認知症とはいわゆる65歳以下で発症した認知症を指し、長野県には500人ほどいると言われております。不幸にも、40代50代の、現在就労中で一家の大黒柱、もしくは家事を担って子育て中という方が、認知症を患ってしまうケースが少なくありません。経済的な支援も必要ですが、高齢者の認知症と違って介護保険に結びつきにくく、何よりも当事者本人が病識をハッキリ持っているため、不安混乱のどん底へ落ちて込んでしまうことが問題となっております。

そんな状況のなかで我々コーディネーターの仕事はなんでしょうか?一年目は手探りで過ぎてしまいましたが、一つ「光」をみえました。それは仙台の丹野さんや、『若年性認知症を理解するシンポジウム“認知症でも笑顔のまま”』でご講演いただいた山田真由美さんなど、もがき苦しみながらもなんとか持ち直して、今を元気生きようと前向きになった当事者の方々の存在です。その方々から学んだことは「就労支援ありき、居場所ありきの、形ばかりの“場”を確保してもダメ」「当事者から離れて仕組みや制度、支援方法を考えてもダメ」「当事者からは離れてはダメ」だということです。

昨年度の一番の成果は正真正銘の「本人の集い」をつくれそうだということ。本人たちの本人たちによる、本人たちのための「つどい」—これが私たちコーディネーターの仕事の起点になれば良い、と考えております。



2018

2/24

「南信のつどい」開催しました!

株式会社 一夢希
代表取締役 藤森 史考

平成29年2月24日、茅野市民館にて「平成30年度 南信のつどい」を開催致しました。今回は、厚生労働省から老健局振興課基準第一係長の宮本和也様、長野県から健康福祉部介護支援課長の小山靖様にお越しいただき、有意義で貴重な時間を参加者全員で共有しました。質疑応答の時間では、平成30年度から介護保険制度が改定されることもあり、会場から多くの質問が寄せられました。

本会終了後は恒例の親睦会。宮本様と宮島理事長を囲み、地元の方々による迫力の太鼓演奏もあって、大いに盛り上がりました。参加者一人ひとりには横のつながりに感謝しつつ、迫る閉会時間を惜しんでいたと思います。

それぞれの地域の、目の前の大切な暮らしを守るためには、縦に割るのではなく、皆で横につながっていくことが大事だと思います。先輩たちが作り、受け継がれてきた伝統「南信のつどい」はこれからも続いていきます。引き続きよろしくお願い致します。



南信会員の取り組み



【法人事業所名】

株式会社 一夢希 宅老所いぶき

〒392-0015 諏訪市中洲2741番地1

TEL: 0266-78-8677 FAX: 0266-78-8167



『宅老所いぶき』は、平成24年諏訪市上金子地区で開所し、今年で6年目を迎えました。今もなお来て下さる利用者さんや支えてくださる周りの方々がいらっしゃることで成り立っている場所であり、本当に感謝としか言いようがありません。

また平成27年には、宅老所いぶきの隣に、「小規模多機能」「住宅型有料老人ホーム」「地域交流スペース」の3つの機能をもつ複合施設『いぶき ゆいの家』をオープンし、今年で3年目を迎えました。

その中のひとつである「地域交流スペース」は、日頃から地域の会議やサークル等に利用していただいております。月・木曜日の“昼定食の日”には、地元の常連さんがお仲間を連れて来てくださり、食事をしながらゆっくりと語りあう、いこいの場になっております。“喫茶の日”には、近所のお年寄りが散歩がてらひょっこりと立ち寄り、おしゃべりをしていかれます。また、学校の放課後や休みの日には子どもたちがわいわいと集まり、とても賑やかに遊んでいます。ときには「小規模多機能」へゲームを借りに訪れ、自然と利用者さんと交流をしています。



株式会社一夢希の代表 藤森史考さん

そんな気軽さや自然さが“優しい”場所であり、そのような場所を作ることが自分たちの大きな目的のひとつです。



利用者さん(元日本料理の板前さん)が自前の刺身包丁を使いお寿司を握ってくれました

このように私たちの事業所は、「自分たちが『こうしなければいけない』と発信して広げていく」というより、地域の大人の方々に「あ〜、こういう場所があるんだな」「都合の良い場所だな」と立ち寄ってもらう場所、子どもたちには「ここに行ってみよう!」と、気軽に立ち寄ってもらいたいと思っています。私たちが、地域の方々の活動をお手伝いさせていただくことが、地域への還元になると考えております。

これからも、決して今に満足することなく、急速な時代の変化に対応しながらも守るべきものはしっかりと守り、進化し続けなければならないと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今後のスケジュール

- 6月27日………認知症ケア・初級研修(南信)
- 7月20・23日…よろず支援機能・基礎研修～地域支援機能編
- 7月26日………認知症ケア・初級研修(北信①)
- 8月21日………認知症ケア・中級研修～ひもとき～(中南信)
- 8月22・23日…よろず支援機能・基礎研修～共生ケア機能編
- 9月20・21日…よろず支援機能・基礎研修～認知症支援機能編
- 9月21日………認知症ケア・初級研修(中信②)

information

ホームページリニューアル&メールアドレス変更のお知らせ

連絡会のホームページを全面リニューアルいたしました。研修のお知らせや報告など随時更新します。

ご意見やお問い合わせはホームページのメールフォームから、またはメールアドレス【info@nagano-taku-gh.jp】までお気軽にどうぞ!

